IHH ヘルスケア(IHHH)

2018/12 期に 3 件、2019/12 期に 1 件、2020/12 期以降に 5 件の病院が完成予定

マレーシア | ヘルスケア施設 | 業績フォロー

BLOOMBERG IHH MK | REUTERS IHHH.KL

- 2018/12 期 1Q(1-3 月) は、売上高が前年同期比 6.3%増の 28.54 億MYR、EBITDA が同 7.7%増の 6.08 億 MYR、純利益は同 93.4%減の 291 万 MYR となった。
- 既存病院が伸びたほか、2017/3 開設の 2 つの病院が新たに収益貢献 したが、病院開設に起因する費用や為替差損などが響き大幅減益。
- 買収や未進出地域への進出も行っていく方針で、2018/12 期に3件、 2019/12 期に1件、2020/12 期以降に5件の病院が完成する予定。

What is the news?

2018/12 期 1Q(1-3 月)は、売上高が前年同期比 6.3%増の 28.54 億 MYR、EBITDA が同 7.7%増の 6.08 億 MYR、純利益は同 93.4%減の 291 万 MYR。既存病院が順調に推移したほか、2017/3 に開設した 2 つの病院などが新たに収益貢献し増収。一方、2017/3 に行った新病院開設に起因して減価償却費や金融費用が増加したほか、米ドルがマレーシアリンギットに対して弱含んだことによる為替差損が響き大幅な減益となった。

事業別の業績は以下の通り。Parkway Pantai は、売上高が同 3.6%増の 17.34 億 MYR、EBITDA は同 1.8%増の 3.40 億 MYR。マレーシアリンギットに対するシンガポールドルの下落の影響を除けば、売上高は同 8%増、EBITDA は同 4%増だった。マレーシアの Pantai Hospital Manjung、Gleneagles Kota Kinabalu 病院、Gleneagles Medini 病院などが牽引。2017/3 開設の香港の Gleneagles 病院も売上を押し上げた。また、前年同期に計上した病院の開業費用の 8,110 万 MYR が 4,660 万 MYR に減少したことも増益に寄与。トルコのアジバデム HD は、売上高が同 11.9%増の 10.23 億 MYR、EBITDA が同 29.1%増の 1.88 億 MYR。2017/3 開設の Altunizade 病院が収益貢献したほか既存病院も伸びた。IMU ヘルスは、売上高が同 1.9%増の 6,408 万 MYR、EBITDA が同 3.4%減の 2,650 万 MYR。受講期間の短縮などで増収だが営業費用の増加で減益。PLife REIT は、売上高が同 0.6%増の 3,269 万 MYR、EBITDA が同 3.2%増の 6,679 万 MYR。日本の高齢者介護リハビリ施設取得により増収だがシンガポールドルの下落により減益。

How do we view this?

同社は、人口動態の変化や中間層・富裕層の増加により、マレーシア、シンガポール、インド、トルコでは需要が持続的に拡大すると見込む。また、大陸中国を最も重要な成長市場としている。既存病院のサービス強化を行うほか、資産買収や未進出地域への病院の開設なども行っていく方針。設備投資計画では、2018/12 期にマレーシア、トルコ、中国で3件、2019/12 期に中国で1件、2020/12 期以降にマレーシア、中国、トルコで5件の病院が完成する予定。通期市場予想は売上高が前期比11.8%増の124.55億 MYR、当期利益が同8.4%減の8.89億 MYR。

業績推移	※参考レート	1MYR=27.51F

不利のエン						
事業年度	201	5/12 201	6/12 201	7/12 2018	/12F 2019/12	F.
売上高(百万N	//YR) 8	,447 10),013 11	L,140 12	2,455 13,96	64
当期利益(百7	ラMYR)	933	612	970	889 1,15	4
EPS (MYR)		0.11	0.07	0.11	0.11 0.1	4
PER(倍)	5	3.64	34.29 5	53.64 5	3.64 42.1	4
BPS (MYR)		2.69	2.67	2.66	2.84 2.9	3
PBR(倍)		2.19	2.21	2.22	2.08 2.0)1
配当(MYR)		0.03	0.03	0.03	0.03 0.0)4
配当利回り	(%)	0.51	0.51	0.51	0.51 0.6	8

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)



配当予想(MYR)	0.03	(予想はBloomberg)
終値(MYR)	5.90	2018/6/21

会社概要

1974年にクアラルンプールに最初の病院であるPantai 病院を設立して創業。2012年にブルサ・マレーシア証券取引所に上場を果たした。時価総額でアジア最大の民間病院の持ち株会社で、三井物産が第二位の大株主である。高品質な医療サービスを提供し、マレーシア国内だけでなく、周辺諸国など海外にも事業を展開している。主力市場は、シンガポール、マレーシア、トルコ、インドであり、今後の拡大が見込まれるマーケットは中国、香港などである。また、ブルネイ、ベトナム、アラブ首長国連邦、マケドニア、イラクなどにも展開している。

従業員数は30,000人超。現在10,000超のベッドを52の病院やメディカルセンター、クリニック、ヘルスケア・サービスなど10ヵ国で有しており、今後新設や既存の病院の拡張により新たに3,000以上のベッドを導入する計画。潜在的に大きいメディカル・ツーリズムの需要から、規模拡大を加速し、アジアや中東などで富裕層の取り込みを図る。

企業データ(2018/6/22)

ベータ値	0.67
時価総額(百万MYR)	48,632
企業価値=EV(百万MYR)	53,297
3ヵ日亚均高置代全(百万MVR)	36.4



主要株主 (2018/6) (%) 1.カザナ・ナショナル 40.46 2.三井物産 18.02 3.Kumpulan Wang Simpanan Pekerja 8.82

(出所:Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

増渕 透吾

togo.masubuchi@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

庵原 浩樹

+81 3 3666 6980

hiroki.ihara@phillip.co.jp

IHH ヘルスケア(IHHH) 2018 年 6 月 22 日



【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元:フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: http://www.phillip.co.jp/

本レポートの作成者:フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増渕 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。